

地域人口移動に関する調査の概報

厚生省人口問題研究所

1. 本調査は人口移動の実態を調査するため、個人の移動歴、移動理由、移動後の感想、今後の移動意志、移動に伴う生活意識の変化などを中心に、全国からランダムに抽出したサンプルを対象として調査したものである。
2. 調査対象は普通世帯の世帯主とし、昭和51年度厚生行政基礎調査が行われる調査区の中から国勢調査区をランダムに140調査区抽出し、その中に含まれるすべての普通世帯の世帯主を調査対象とした。
3. 調査の実施は調査票を配布し、対象者に記入を依頼し、後日これを回収し、人口問題研究所において集計する方法によった。
4. 調査日は昭和51年6月1日現在とした。
5. 配票総数は7,952票で、そのうち回収不能票および無効票をのぞき、有効回収票は7,691票（96.7%）であった。
6. 有効回収票を集計した結果によると、調査対象者の現住地別分布は、総数7,691人のうち、大都市圏（東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、京都、兵庫、愛知、三重、岐阜）居住者が3,551人（46.2%）、その他の地域の居住者が4,140人（53.8%）であった。
7. 本概報は、そのうち年齢20歳以上の者7,546人について集計した結果を中心に、とくに重要と思われる結果を速報として発表するものである。
8. 本概報で用いられる地域区分は上述の大都市圏のほか、次に示されているとおりである。

	地 域 名	含まれる都府県名
大 都 市 圏	東 京 圏	東京、神奈川、埼玉、千葉
	阪 神 圏	大阪、京都、兵庫
	中 京 圏	愛知、三重、岐阜
非 大 都 市 圏	北 海 道	北海道
	北 東 北	青森、岩手、秋田
	南 東 北	宮城、山形、福島
	北 関 東	茨城、栃木、群馬
	北 陸	新潟、富山、石川、福井
	東 山	山梨、長野、静岡
	京 阪 周 辺	滋賀、奈良、和歌山
	山 陰	鳥取、島根
	山 陽	岡山、広島、山口
	四 国	徳島、香川、愛媛、高知
	北 九 州	福岡、佐賀、長崎、大分
	南 九 州	熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

9. 大都市圏に現在居住している者（現在居住者）は、総数の44.3%であり、過去に大都市圏に居住したことがある者（既往居住者）は15.2%で、それらの合計（大都市圏居住経験者）は59.5%である。大都市圏居住経験者は20代、30代の若い層にとくに多い（表1）。
10. 現在大都市圏以外の地域に居る者のうち、かつて大都市圏に居住した経験のある者は28.3%で、これも20代、30代の若い層に多い（表2）。
11. これを地域別にみると、北関東、京阪周辺など大都市圏に隣接する地域に多い（表3）。
12. 現在大都市圏以外の地域に居る者のうち、かつて大都市圏に居住した経験のある

者が大都市圏から移転した理由は、転勤、就職、失業など仕事関係が多い（表4）。

13. 過去1年間の移動状況は、全く移動がなかった者92.9%、移動した者7.1%であった。現住地と同じ市町村内を移動した者は3.1%、同じ都府県内を移動した者は2.0%、都府県間を移動した者は1.9%、外国から流入した者は0.1%であった。移動した者の割合は20代と30代前半の若い層に多い（表5）。

14. 過去1年間の移動を東京圏と非大都市圏に分けてみると、東京圏において概して移動者の割合が高く、とくに若い層で、他市町村間、他府県間の移動者の割合が高い（表6、表7）。

15. 1年間の移動の理由は、全地域について、住宅の事情によるものが多く、ついで仕事関係の理由によるものが多い。これを東京圏と非大都市圏に分けてみても大きな変化はみられないが、東京圏では、通勤・通学の負担が重かった、居住環境が変わった、がやや多く、非大都市圏では、仕事関係の理由が多いという違いがみられる（表8、9、10）。

16. 住所を移転したいと思っている者は、総数の21.6%で、とくに20代、30代の若い層に多い。これを東京圏と非大都市圏に分けてみると、東京圏において移転の希望者の割合が高い（表11、12、13）。

17. 移転を希望する者の理由は、全地域について、住宅が狭い、居住環境がわるいという理由が多くあげられているが、東京圏と非大都市圏を比較すると、東京圏では居住環境がわるいという理由が、そして非大都市圏ではよい仕事がない、仕事上不便という理由が相対的に多い（表14、15、16）。

18. 移転を希望する者が、移転先として希望する地域は大都市圏が多い。しかし、それぞれ現住地の属する地域内で移転する傾向が強い。東京圏、阪神圏、中京圏とも移転によって流出する数は移転によって流入する数を超過しており、移転希望意識からみて大都市圏人口は流出超過になり、その他地域が流入超過になることが示される（表17、18）。

19. 転居後の生活内容の変化を短距離移動者と長距離移動者別にみると、長距離移動者において食事の変化が著しいということ、短距離移動者においては買物が便利になったり、居住地の自然環境がよくなった、住宅がすみやすくなった者が多いことが注目される（図1）。

20. 転居後全般的に生活内容がよくなったかどうかという判断についてみると、一般に短距離移動者においてよくなったと判断している者が多く、悪くなったという者が長距離移動者においてかなり多いことが注目される（図2）。

21. 一般に若い年齢層において移動経験者の割合が高く、年齢の増大にともなって規則的に低下しており、今日の人口移動の一般的な年齢的特徴を示している。反対に定着者の割合は年齢の増大にともなって高い（表19）。

22. もっとも重要な特徴は、3食米飯パターンをとる者の割合がいずれの年齢層においても定着者において高いということと、この3食米飯パターンが年齢の上昇と共に増大するという規則的傾向を示していることである。次に朝パン食・昼タ米飯パターンは前者とは全く反対の傾向が規則的にあらわれている。すなわちこのパターンをとる者の割合は、いずれの年齢層においても移動者で高く、年齢全体としてみると年齢の上昇にともなって低下していることである。さらに、朝欠食・昼タ米飯という特殊なパターンにおいても同様な規則的傾向がみとめられる。このばあい特に20～29歳層において18%もあり、また移動者では20%の高水準にあることに留意を要する（表20）。

表1 大都市圏に居住した経験（全地域）

年 齢	総 数(実数)	現在居住者	既往居住者	未経験者	(現在+既往)
20代	1,131 ^人	56.7%	16.2%	27.1%	(72.9%)
30代	1,675	52.6	18.7	28.7	(71.3)
40代	1,972	43.0	11.9	45.1	(54.9)
50代	1,356	41.7	15.2	43.1	(56.9)
60以上	1,432	39.9	14.8	45.3	(54.7)
総 数	7,566 ^人	46.3%	15.2%	38.5%	(61.5%)

表2 現在大都市圏以外に居る者の大都市圏居住経験（非大都市圏）

年 齢	総 数(実数)	経験あり	経験なし
20代	490 ^人	37.3%	62.7%
30代	794	39.4	60.6
40代	1,125	20.9	79.1
50代	790	26.1	73.9
60以上	861	24.6	75.4
総 数	4,060 ^人	28.3%	71.7%

表3 現在大都市圏以外に居る者のうち 大都市圏居住経験者の割合

地 域	経 験 者
北海道	14.1%
東北	12.2
関東	31.3
北関東	40.1
北陸	34.6
東山	31.1
京阪	41.3
山陰	31.7
山陽	30.6
四国	33.0
北九州	18.8
南九州	22.0
総 数	28.3%

表4 大都市圏から移転した理由 (非大都市圏)

移転した理由	20代	30代	40代	50代	60以上	総数
1. 親や家族につれて	4.3%	6.4%	17.1%	9.2%	11.3%	9.6%
2. 転勤になった	22.1	28.1	18.1	17.1	15.3	21.2
3. 学校を卒業して就職	22.1	13.5	13.2	12.5	14.7	14.9
4. 家業を継ぐことになった	5.5	7.1	10.7	19.1	14.7	10.7
5. 入学・進学のため	5.5	2.5	2.4	3.3	1.3	2.9
6. 仕事なくなった	6.7	8.2	15.6	13.8	17.3	11.9
7. 通勤・通学の負担が重い	8.0	3.9	0.5	2.6	0.7	3.2
8. 結婚など縁事	9.2	12.1	4.9	9.9	12.7	9.8
9. 住宅の事情	8.6	8.9	10.7	4.6	7.3	8.3
10. 医療機関が遠い	0.6	0.4	0.5	0.7	0.7	0.5
11. 居住環境がわるい	7.4	8.9	6.3	7.2	4.0	7.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	163	281	205	152	150	951

表5 1年前の住所と現住所の異同 (全地域)

年 齢	総数 (実数)	同じ住所	同じ 市町村内	同じ 都府県内	異なる 都府県	外 国
20 ~ 24 歳	376人	84.4%	15.2%	9.8%	10.6%	0%
25 ~ 29	740	78.7	9.2	7.2	4.9	0
30 ~ 34	798	90.8	3.5	3.0	2.6	0.1
35 ~ 39	873	93.0	2.9	1.8	2.1	0.2
40 ~ 44	939	96.4	1.8	0.6	1.1	0.1
45 ~ 49	1,026	97.3	1.6	0.5	0.6	0
50 ~ 54	789	98.0	0.8	0.8	0.4	0
55 ~ 59	561	98.0	0.9	0.7	0.4	0
60 ~ 64	532	98.2	0.6	0.6	0.6	0
65 以上	889	99.3	0.6	0	0.1	0
総 数	7,519人	92.9%	3.1%	2.0%	1.9%	0.1%

表6 1年前の住所と現住地の異同 (東京圏)

年 齢	総 数 (実数)	同じ住所	同じ 市町村内	同じ 都府県内	異なる 都府県	外 国
20 ~ 24 歳	170 人	64.1 %	12.4 %	10.0 %	13.5 %	0 %
25 ~ 29	259	76.5	6.9	10.0	6.6	0
30 ~ 34	229	92.1	3.1	2.2	2.6	0
35 ~ 39	279	92.1	3.2	1.4	2.9	0.4
40 ~ 44	238	96.3	2.5	0.4	0.4	0.4
45 ~ 49	238	97.1	0.8	1.3	0.8	0
50 ~ 54	169	98.2	0	1.8	0	0
55 ~ 59	128	99.2	0.8	0	0	0
60 ~ 64	106	94.4	1.9	0.9	2.8	0
65 以上	153	99.3	0.7	0	0	0
総 数	1,969 人	90.5 %	5.4 %	3.0 %	3.0 %	0.1 %

表7 1年前の住所と現住所の異同 (非大都市圏)

年 齢	総 数 (実数)	同じ住所	同じ 市町村内	同じ 都府県内	異なる 都府県	外 国
20 ~ 24 歳	187 人	72.2 %	13.9 %	7.5 %	6.4 %	0 %
25 ~ 29	298	76.6	13.4	5.0	5.0	0
30 ~ 34	397	91.1	3.3	2.0	3.3	0.3
35 ~ 39	397	93.2	2.5	2.5	1.8	0
40 ~ 44	511	96.6	1.4	0.6	1.4	0
45 ~ 49	611	97.4	2.1	0	0.5	0
50 ~ 54	449	97.7	0.9	0.7	0.7	0
55 ~ 59	332	97.3	1.2	0.9	0.6	0
60 ~ 64	308	99.4	0.3	0.3	0	0
65 以上	545	99.1	0.7	0	0.2	0
総 数	4,035 人	94.0 %	3.0 %	1.4 %	1.6 %	0 %

表8 1年前と住所が変わった理由 (全地域)

住所が変わった理由	20代	30代	40代	50代	* 60以上	総 数
1 親や家族につれられて	% 1.0	% 2.8	% 0	% 3.6	% 0	% 1.5
2 転 勤 に な っ た	11.3	29.1	20.0	21.4	16.7	17.6
3 学校を卒業して就職	6.7	0	0	0	0	3.7
4 家業を継ぐことになった	1.0	0.7	0	0	0	0.7
5 入学・進学のため	4.0	2.1	0	0	0	2.8
6 仕事がなくなった	4.0	7.1	5.0	3.6	0	4.9
7 通勤・通学の負担が重い	8.3	4.3	8.3	0	0	6.7
8 結婚など縁事	21.7	8.5	1.7	10.7	0	15.1
9 住宅の事情	34.6	38.3	56.7	53.6	66.6	39.5
10 医療機関が遠い	0.7	0	0	0	0	0.4
11 居住環境がわるい	6.7	7.1	8.3	7.1	16.7	7.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	300	141	61	28	6	536

(注) * 少数例で、他の表についても同じ。

表9 1年前と住所が変わった理由 (東京圏)

住所が変わった理由	20代	30代	40代	* 50代	* 60以上	総 数
1 親や家族につれられて	% 0	% 0	% 0	% 0	% 0	% 0
2 転 勤 に な っ た	8.4	28.3	11.1	25.0	0	13.4
3 学校を卒業して就職	9.2	0	0	0	0	6.0
4 家業を継ぐことになった	0	0	0	0	0	0
5 入学・進学のため	6.9	0	0	0	0	4.5
6 仕事がなくなった	6.9	8.7	0	0	0	6.5
7 通勤・通学の負担が重い	9.2	4.3	11.1	0	0	8.0
8 結婚など縁事	17.6	13.0	0	0	0	14.4
9 住宅の事情	34.1	37.0	55.6	75.0	100.0	38.3
10 医療機関が遠い	0.8	0	0	0	0	0.5
11 居住環境がわるい	6.9	8.7	22.2	0	0	8.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	131	46	18	4	2	201

表 10 1 年前と住所が変わった理由 (非大都市圏)

住所が変わった理由	20代	30代	40代	50代	60代以上	総数
1 親や家族につれて	1.6%	5.5%	0%	4.8%	0%	2.6%
2 転勤になった	16.4	32.7	22.6	23.8	40.0	22.2
3 学校を卒業して就職	6.6	0	0	0	0	3.4
4 家業を継ぐことになった	0.8	0	3.2	0	0	0.9
5 入学・進学のため	2.5	3.6	0	0	0	2.1
6 仕事なくなった	1.6	5.5	6.5	4.8	0	3.4
7 通勤・通学の負担が重い	9.0	5.5	6.5	0	0	6.8
8 結婚など縁事	22.1	3.6	3.2	14.3	0	14.1
9 住宅の事情	31.1	38.2	54.8	47.6	40.0	37.6
10 医療機関が遠い	0.8	0	0	0	0	0.4
11 居住環境がわるい	7.4	5.5	3.2	4.8	20.0	6.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	122	55	31	21	5	234

表 11 移転の希望の有無(全地域)

年 齢	総数(実数)	希望する	希望しない
20 代	1,131 ^人	39.3%	60.7%
30 代	1,675	33.0	67.0
40 代	1,972	18.6	81.4
50 代	1,356	12.9	87.1
60 以上	1,432	6.9	93.1
総 数	7,566 ^人	21.6%	78.4%

表 12 移転の希望の有無(東京圏)

年 齢	総数(実数)	希望する	希望しない
20 代	437 ^人	41.0%	59.0%
30 代	511	39.7	60.3
40 代	478	24.1	75.9
50 代	297	17.5	82.5
60 以上	262	9.5	90.5
総 数	1,985 ^人	28.9%	71.1%

表13 移転の希望の有無（非大都市圏）

年 齢	総数(実数)	希望する	希望しない
20 代	490 ^人	37.3 [%]	62.7 [%]
30 代	794	29.2	70.8
40 代	1,125	15.7	84.3
50 代	790	10.5	89.5
60 以上	861	5.1	94.9
総 数	4,060 ^人	17.7 [%]	82.3 [%]

表14 移転を希望する理由（全地域）

移転希望の理由	20 代	30 代	40 代	50 代	60 以上	総 数
1 よい仕事がない、仕事上不便	8.8 [%]	8.9 [%]	7.0 [%]	13.4 [%]	9.0 [%]	9.0 [%]
2 買物など生活上不便	12.2	7.5	8.3	8.6	6.7	9.1
3 住 宅 が 狭 い	45.3	46.2	43.9	38.5	40.5	44.2
4 通勤・通学の負担が重い	5.2	5.3	8.3	5.3	7.9	6.1
5 居住環境がわるい	19.7	20.9	24.2	28.9	27.0	22.4
6 医療機関が遠い	2.0	4.5	3.9	2.1	2.2	3.3
7 人間関係がわずらわしい	6.8	6.7	4.4	3.2	6.7	5.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	498	640	384	187	89	1,798

表15 移転を希望する理由（東京圏）

移転希望の理由	20代	30代	40代	50代	60以上	総数
	%	%	%	%	%	%
1 よい仕事がない、仕事上不便	5.5	6.9	5.6	8.1	12.5	6.6
2 買物など生活上不便	16.4	9.4	5.6	11.3	16.6	11.1
3 住宅が狭い	42.6	46.2	46.1	40.3	25.0	43.8
4 通勤・通学の負担が重い	7.1	7.3	9.7	0	25.0	7.7
5 居住環境がわるい	21.3	20.4	26.6	35.5	12.5	23.0
6 医療機関が遠い	2.2	3.3	3.2	1.6	4.2	2.8
7 人間関係がわすらわしい	4.9	6.5	3.2	3.2	4.2	5.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	183	245	124	82	24	638

表16 移転を希望する理由（非大都市圏）

移転希望の理由	20代	30代	40代	50代	60以上	総数
	%	%	%	%	%	%
1 よい仕事がない、仕事上不便	11.7	12.0	8.7	21.5	12.9	12.2
2 買物など生活上不便	11.7	8.8	14.0	10.1	3.2	10.7
3 住宅が狭い	46.8	46.1	41.3	34.2	45.2	43.8
4 通勤・通学の負担が重い	4.2	2.4	5.2	11.4	3.2	4.6
5 居住環境がわるい	15.4	17.5	19.2	19.0	19.4	17.5
6 医療機関が遠い	2.3	6.8	5.8	1.3	3.2	4.6
7 人間関係がわすらわしい	7.9	6.4	5.8	2.5	12.9	6.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数(件数)	214	251	172	79	31	747

表17 移転希望地（全地域）

移転希望地	20代	30代	40代	50代	60以上	総数
1 東京圏	35.4%	35.5%	30.1%	28.5%	28.2%	33.2%
2 阪神圏	11.1	14.6	12.2	15.8	18.0	13.5
3 中京圏	4.6	5.0	6.4	8.9	9.0	5.8
4 札幌など	10.9	5.8	9.1	10.1	6.7	8.4
5 県庁所在地	10.9	10.4	9.7	7.6	5.6	9.8
6 10～20万	10.9	10.8	8.5	9.5	11.2	10.2
7 10万未満	13.3	15.4	19.1	15.8	19.1	15.9
8 農漁村	2.9	2.5	4.9	3.8	2.2	3.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計の実数	413	519	329	158	89	1,508

表18 現住地と移転希望地（全地域）

移転地 現住地	東京圏	阪神圏	中京圏	その他地域	合 計
東京圏	446	7	0	69	522
阪神圏	2	171	0	33	206
中京圏	7	2	80	24	113
その他地域	43	23	8	591	665
合 計	498	203	88	717	1,506

現住地からみた移転希望地の分布

移転地 現住地	東京圏	阪神圏	中京圏	その他地域	合 計
東京圏	85.5%	1.3	0	13.2	100.0
阪神圏	1.0%	83.0	0	16.0	100.0
中京圏	6.2%	1.8	70.8	21.2	100.0
その他地域	6.5%	3.5	1.2	88.8	100.0
総 数	33.0%	13.5	5.8	47.7	100.0

図1 転居後の生活内容の変化
(現住所が1年前の住所と異なるものについて)

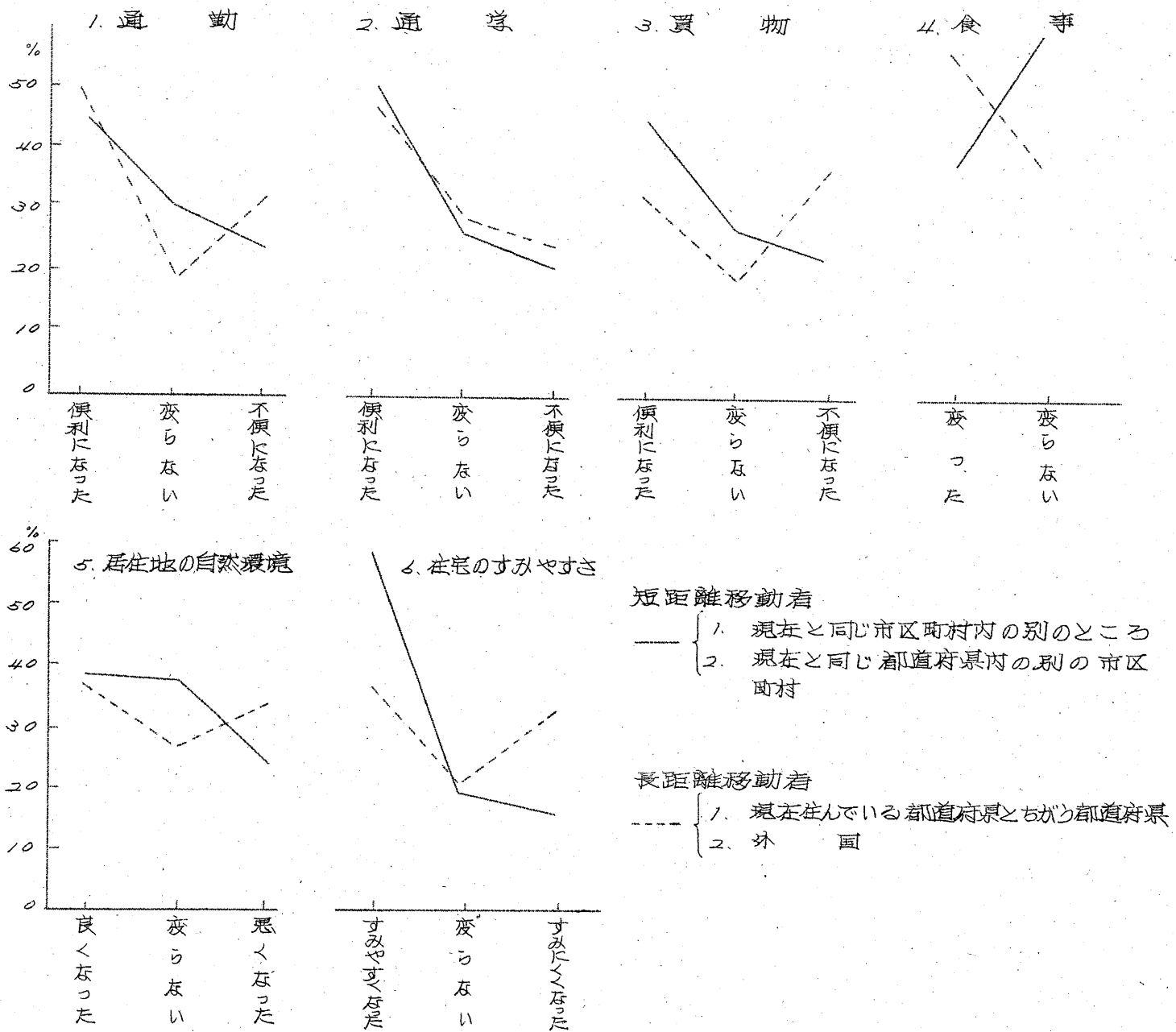


図2 転居後の総合的にみた生活内容の変化

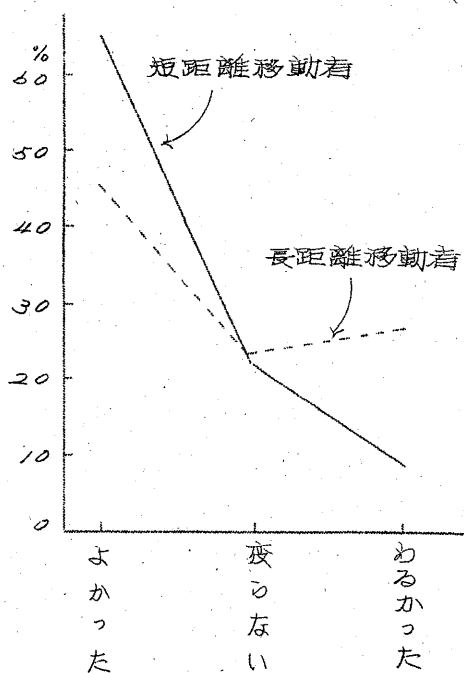


表19 移動の有無別、年齢別分布

年 齢	総 数	定 着 者	移 動 者
歳	%	%	%
20 ~ 29	100.0 (1,131)	35.5	64.5
30 ~ 39	100.0 (1,675)	43.2	56.8
40 ~ 49	100.0 (1,972)	55.4	44.6
50 ~ 59	100.0 (1,356)	57.7	42.3
60 ~	100.0 (1,432)	60.3	39.7
総 数	100.0 (7,566)	51.1	48.9

注) 定着者とは、現住地、出生地、義務教育終了地、最終学校卒業地、結婚した場所、仕事についた場所が、すべて同一の者。

移動者とは、上記にあげた場所が1つでも異なる者。

()内数値は実数である。

表20 移動の有無と年齢別にみた主食パターン

年 齢		総 数	主 食 パ タ ー ン					
			あ ま る 米 飯	米 飯 め ん 米 飯	米 飯 パ ン 米 飯	パ ン 米 飯 米 飯	次 食 米 飯 米 飯	そ の 他
総 数	総 数	100.0% (7,566)	62.3%	5.5%	3.9%	16.7%	5.7%	5.9%
	定着者	100.0 (3,864)	72.2	4.6	3.6	11.7	3.7	4.2
	移動者	100.0 (3,702)	52.0	6.4	4.2	21.8	7.6	8.0
20 〜 29 歳	総 数	100.0 (1,131)	42.4	3.6	3.4	23.2	18.1	9.3
	定着者	100.0 (402)	52.0	2.7	4.0	20.6	14.7	6.0
	移動者	100.0 (729)	37.2	4.1	3.0	24.6	20.0	11.1
30 〜 39	総 数	100.0 (1,675)	56.8	5.9	2.7	22.1	5.9	6.6
	定着者	100.0 (723)	68.0	4.3	2.9	16.0	3.6	5.2
	移動者	100.0 (952)	48.2	7.0	2.5	26.7	7.6	8.0
40 〜 49	総 数	100.0 (1,972)	66.1	6.5	3.9	15.3	3.1	5.3
	定着者	100.0 (1,093)	74.1	5.3	3.9	10.4	2.7	3.6
	移動者	100.0 (879)	56.2	7.5	3.9	21.4	3.6	7.4
50 〜 59	総 数	100.0 (1,356)	67.6	6.8	4.6	13.2	2.4	5.4
	定着者	100.0 (782)	74.3	5.9	3.3	10.0	2.4	4.1
	移動者	100.0 (574)	58.4	8.0	6.4	17.6	2.4	7.2
60 以 上	総 数	100.0 (1,432)	74.0	4.7	5.0	10.7	1.7	3.9
	定着者	100.0 (864)	72.2	4.6	3.6	11.7	3.7	4.2
	移動者	100.0 (568)	52.0	6.4	4.2	21.8	7.6	8.0

注) 定着者、移動者の定義は表15と同じ。()内数値は実数である。